

The Episode of Oil Massage⑧**脊髄腫瘍が消失！？**

体質研究所主宰 松原秀樹

2008年の秋にMKSを立ち上げて1ヵ月後、33歳の女性患者から電話があり、「首が痛いので、どうしたらよいか」という相談を受けた。最初は単なる寝違いかと思ったが、数日経つうち左腕が痛くなりだし、ついにはまったく動かせなくなり、その後、右腕も痺れてきて左腕と同じようになって入院することになってしまった。

検査では「脊髄の首の箇所8に腫瘍らしきものがある」と分かった。「腫瘍らしきもの」が何なのかは、精密検査しないと分からない。病変が特定しないと、治療は一切できない。しかし、妊娠7ヶ月のため精密検査ができない。精密検査をするには、まず代理母を見つけて胎児を移さなければならない。

症状は、両腕ともまったく動かず、首も肩も両腕も、軽く触れただけで激痛が走るため、仰向けで寝られない。だから夜も、腰かけて眠っていた。そんな状態でも、診断ができないから何の処置も受けられず、ただ入院しているだけだった。

彼女は若い頃からずっとファーストフード店でアルバイトしながら音楽活動をしてきたため、食事はほとんどファーストフードで済ましてきた。「**ファーストフードに含まれる大量の砂糖とトランス脂肪が主な原因で、脊髄が酸化した**」と推測された。**食事を改善し、高い抗酸化力を補給すれば、酸化した組織が元に戻るかもしれない。**

彼女の世話役（小学校時代の先生）にそう説明して、「マッサージオイル」と「水素」を病院に届けてもらった。

運よく看護婦の一人に理解があって、オイルマッサージを上手にしてくれた。触っただけで痛いので、優しく撫でるようにしてもらった。オイルマッサージをしてもらうと3時間くらいは痛みが和らいだので、その間に眠った。「水素」も毎日3カプセルずつ飲んでもらった。

するとナント！ 入院して1ヵ月半で症状が消失し、退院できることになった！ そしてその2ヵ月後に、自然分娩で出産した。

それから1年経った今でも、症状は何もなく、母子ともに元気に暮らしている。